

2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議（第2回）

日時：令和5年12月27日（水）11:00～

場所：大阪市役所 P1階（屋上）会議室

<次 第>

開会

議事

（1）企業への働きかけについて ……資料1-1～4

（2）先導的取組について ……資料2-1～3

閉会

<配布資料>

- ・ 出席者名簿
- ・ 配席図
- ・ 設置要綱
- ・ 資料1-1：企業への働きかけについて
- ・ 資料1-2：企業向けリーフレット
- ・ 資料1-3：今後の進め方
- ・ 資料1-4：大阪府・大阪市の取組
- ・ 資料2-1～3：先導的取組について

2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議（第2回）

出席者名簿

<会長>

吉村 洋文 大阪府知事

<会長代行>

横山 英幸 大阪市長

<副会長>

石毛 博行 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 事務総長

<委員>

松本 正義 公益社団法人関西経済連合会 会長

鳥井 信吾 大阪商工会議所 会頭

宮部 義幸 一般社団法人関西経済同友会 代表幹事

<協力委員>

信谷 和重 経済産業省 近畿経済産業局長

見坂 茂範 国土交通省 近畿地方整備局長

日笠 弥三郎 国土交通省 近畿運輸局長

原 恭 関西鉄道協会 会長

井波 洋 近畿バス団体協議会 会長

<先導的取組発表者>（五十音順）

朝日 努 日立造船株式会社 業務管理本部 人事部 労働・福祉グループ長

湯朝 啓之 ミズノ株式会社 グローバル人事総務部大阪総務課長

植田 文一 株式会社ロイヤルホテル 代表取締役社長

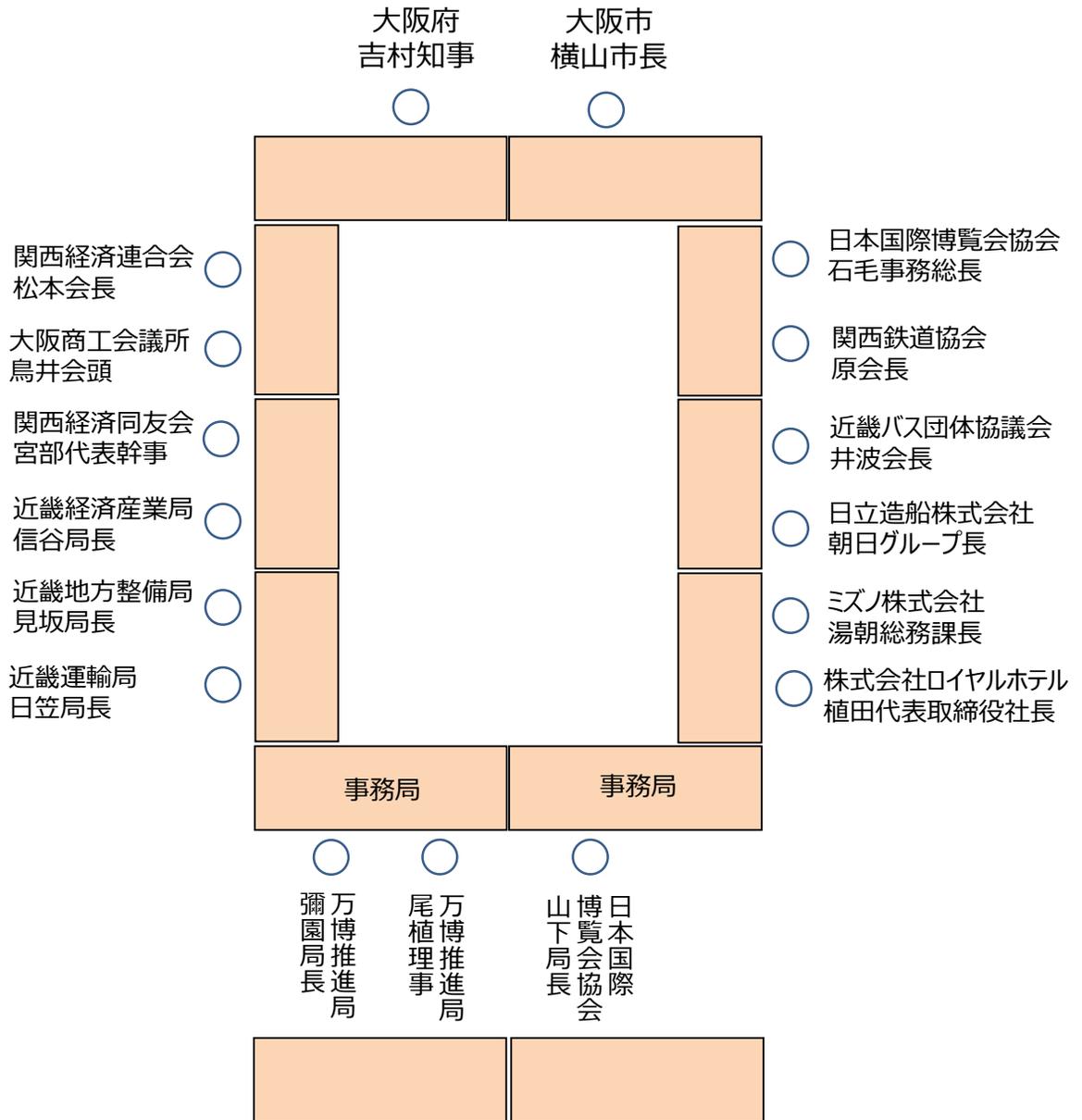
<事務局>

彌園 友則 大阪府市 万博推進局長

尾植 正順 大阪府市 万博推進局 理事

山下 雄史 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 交通局長

2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議（第2回） 配席図



「2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議」設置要綱

(目的)

第1条 2025年に開催される万博期間中には、万博関連交通と通勤や物流等にかかる一般交通が輻輳するため、適切な対策を講じる必要がある。そこで、これらの交通の円滑化を図るために「2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議（以下「推進会議」という。）」を設置し、在宅勤務や時差出勤、混雑予測箇所の迂回など、住民や企業等の交通にあたっての行動変容を促す取り組みを関係者が一体となって検討・調整し、広く協力を働きかけ、円滑な万博来場者輸送と都市活動の両立をめざす。

(所管事項)

第2条 推進会議は、万博期間中の一般交通の抑制、分散、平準化を目的とした働きかけに関する協議・調整等を行う。

(組織)

第3条 推進会議は、会長、会長代行、副会長、委員及び協力委員で組織する。

2 会長、会長代行、副会長及び委員は、別表1に掲げる職にある者をもって充てる。

3 会長が必要と認めるときは、別表1以外の者に委員またはオブザーバーとして参加を求めることができる。

(会議の開催)

第4条 会長は推進会議を代表し、会議を招集するとともに会議を主宰する。

2 会長、会長代行、副会長及び委員は、指名した者をその代理として推進会議に出席させることができる。

(幹事会)

第5条 推進会議の円滑な運営を図るため、推進会議に幹事会を置く。

2 幹事長は大阪府大阪市万博推進局理事及び副幹事長は公益社団法人2025年日本国際博覧会協会交通局交通部長とし、参加者は別表1の者が所属する団体の実務担当者等を持って充てる。

3 幹事長は幹事会を代表し、会議を招集するとともに会議を主宰する。

(会議及び資料の取り扱い)

第6条 推進会議は原則公開とする。ただし、会長が必要と認める場合は非公開とする。

2 幹事会については非公開とする。

(事務局)

第7条 推進会議及び幹事会の事務局は、大阪府大阪市万博推進局及び公益社団法人2025年日本国際博覧会協会交通局が担う。

(雑則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、推進会議及び幹事会の運営に関し必要な事項は、会長が推進会議に諮って定める。

(附則)

本要綱は、令和4年12月27日から施行する。

(附則)

本要綱は、令和5年7月10日から施行する。

(附則)

本要綱は、令和5年 月 日から施行する。

別表1 (第3条関係)

| | |
|------|---------------------------|
| 会長 | 大阪府知事 |
| 会長代行 | 大阪市長 |
| 副会長 | 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 事務総長 |
| 委員 | 公益社団法人関西経済連合会 会長 |
| | 大阪商工会議所 会頭 |
| | 一般社団法人関西経済同友会 代表幹事 |
| 協力委員 | 経済産業省 近畿経済産業局長 |
| | 国土交通省 近畿地方整備局長 |
| | 国土交通省 近畿運輸局長 |
| | 関西鉄道協会 会長 |
| | 近畿バス団体協議会 会長 |

企業への働きかけについて

【企業ヒアリングの結果】

混雑の影響を受ける企業はTDMに関心を持っている

何をしたら良いのか、ではなく

万博時の交通状況を知りたいというニーズ

【働きかけの狙い】

TDMをご存じない方に、

TDMの内容や必要性を知っていただく

TDMに関心を持たれている方に、

交通状況をより理解していただく

企業へのTDMの働きかけ内容

①働きかけTDMに向けたリーフレット（適宜更新）を用いた広報

▶▶▶ 交通状況の理解、TDMを検討するきっかけとなることを期待

②TDMパートナー登録制度を創設 ※登録開始時期は2月頃を予定

- ・万博開催時の交通情報・他の企業の取組などの参考情報をメールマガジン形式で配信

▶▶▶ 交通状況の更なる理解、TDMの検討の深度化を期待

- ・TDMパートナー登録証を発行、事務局HPで企業名・企業HPのURL等を公表

▶▶▶ TDMに取り組む企業の拡大、取組意欲の向上を期待

③2024年秋にTDMの試行を実施

- ・万博の最混雑時期の1年前となる2024年9月～10月を予定。
- ・実際にTDMに取り組んでいただき、実現性を確認する。

▶▶▶ 更なる盛り上げを期待、一般の方のTDMに繋げていく



円滑な交通の実現にご協力をお願いします！

1 万博には多くの方が来場します！

[1日あたり 約**22.7万人/日**注1]

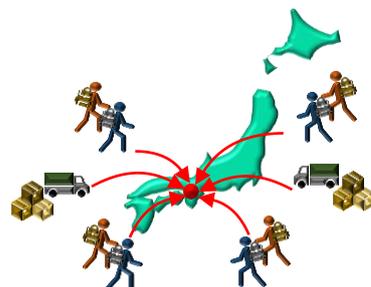
- 来場者による交通手段の利用内訳

[鉄道:約**12.4万人/日**注2] [道路:約**10.3万人/日**注3]

注1:日來場者数の上位1割平均

注2:Osaka Metro中央線を利用する来場者数

注3:駅シャトルバス等、自家用車等を利用する来場者数



→詳細はP.2,3へ

- それらに伴い、会場周辺や大阪市内等の主要駅周辺へ、**人流と物流の集中**が想定

2 何も取り組みを行わないと…

- 一部の**鉄道や道路**で来場者による**万博交通**と通勤や物流等の**一般交通**が1箇所へ集中し、**混雑の発生**が想定

例えば…



平日8時から10時台にOsaka Metro中央線の弁天町から朝潮橋間において、
混雑が約**2倍に増加** [混雑率：(現在)約70% → (取組なし)約140%] 等

→詳細はP.4へ



平日8時台に阪神高速5号湾岸線の湾岸舞洲出口を先頭に天保山JCT方面へ、
新たに約**1kmの渋滞が発生** [(現在)渋滞なし → (取組なし)通過に約5分所要] 等

→詳細はP.5へ

3 これらの交通混雑が企業活動等へ影響を与える可能性があります

鉄道の場合

<取組なし>

- 現在の出勤率を継続 等

↓ 駅ホーム等の安全性や定期運行に支障 等

利用したい時間の列車に乗れない 等

<取組あり>

- 在宅勤務等を推進し、移動量を削減 等

↓ 駅ホーム等の安全性や定期運行が確保 等

利用したい時間の列車に乗れる 等

道路の場合

<取組なし>

- 混雑箇所を避けず経路を変更しない

↓ 既存の渋滞が悪化 等

目的地への到着が遅れる 等

<取組あり>

- 混雑区間を避けた経路の変更等を推進 等

↓ 既存の渋滞が悪化しない 等

迂回により目的地への到着が遅れない 等

これらのリスクを回避することで、**企業活動等への影響を最小限に抑制**

→詳細はP.6へ

4

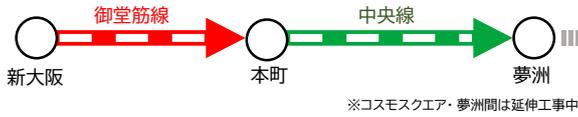
円滑な交通の実現に、企業の皆さまのご協力をお願いします！

(1)会場アクセス

- 万博会場への主要なアクセスルートは鉄道(Osaka Metro中央線)と道路(舞洲経由)です

1. 3つの主要ルート

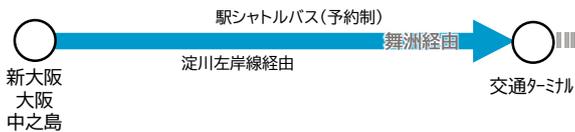
① Osaka Metro 中央線(鉄道)



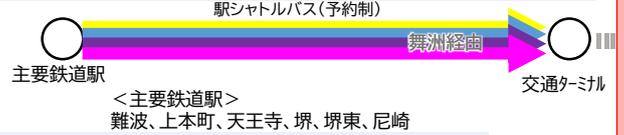
② JR桜島線(鉄道+駅シャトルバス)



③ 淀川左岸線(2期) (新大阪駅、大阪駅等発の駅シャトルバス)



2. 主要鉄道ターミナルからの駅シャトルバス



3. 空港ターミナルからの直行バス 4. 中距離直行バス・長距離直行バス



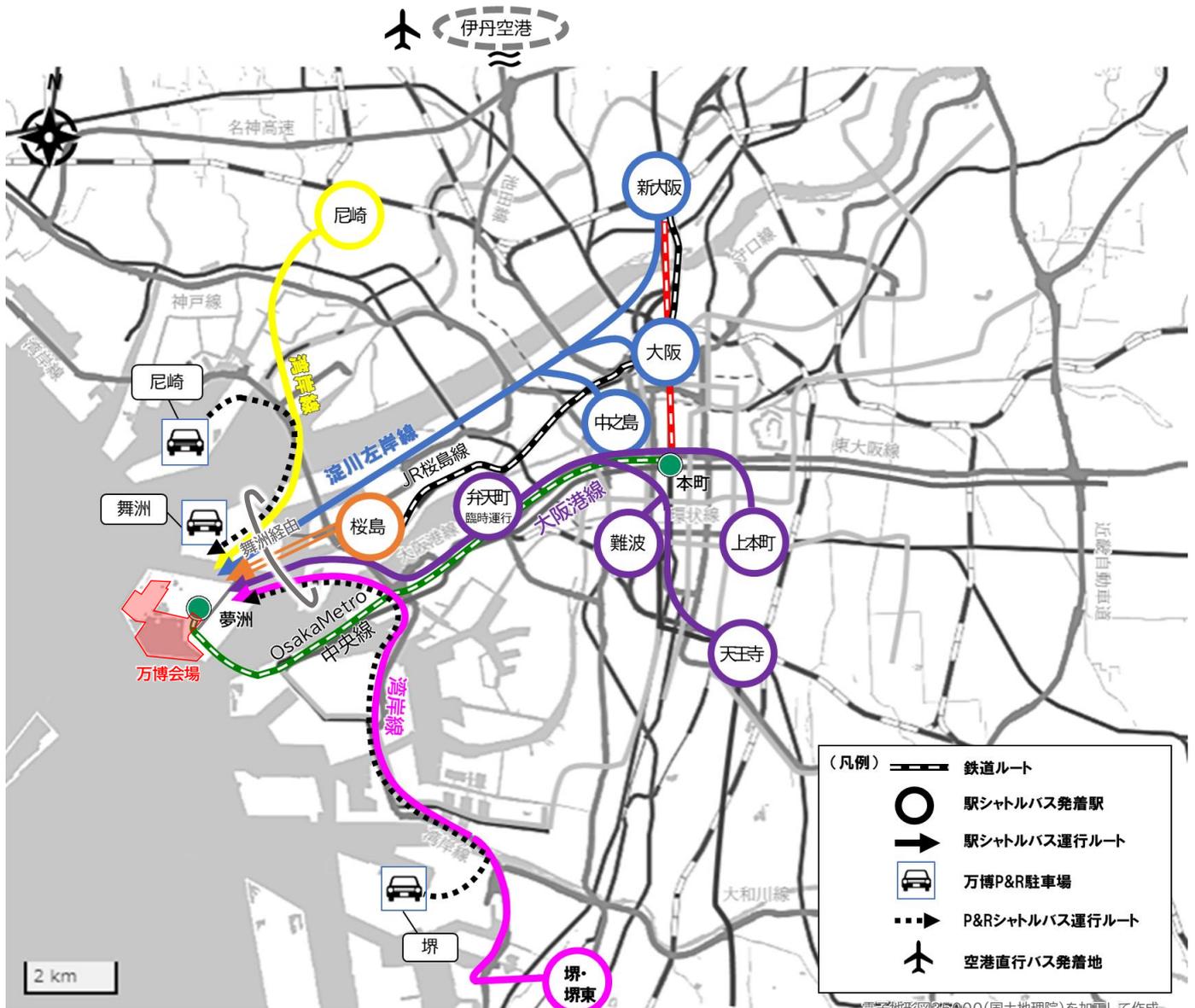
5. 自家用車利用



万博会場

万博会場

- 原則として電車・バスなどの公共交通機関の利用を呼びかけ
- やむを得ず自家用車を利用される場合は、万博P&R駐車場の利用を呼びかけ



(凡例)

| | |
|--|----------------|
| | 鉄道ルート |
| | 駅シャトルバス発着駅 |
| | 駅シャトルバス運行ルート |
| | 万博P&R駐車場 |
| | P&Rシャトルバス運行ルート |
| | 空港直行バス発着地 |

電子地形図25000(国土地理院)を加して作成

(2) 会場の混雑予測

① 万博会期中における会場の混雑予測

- 開催期間は184日間(2025年4月13日～10月13日)です
- 会場が混雑する期間は、修学旅行シーズンの6月や駆け込み需要のある8月のお盆以降などと予測しています
- 特に会期終盤の10月の約2週間は非常に混雑すると予測しています

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 計 上段:日数 下段:割合 |
|---------------------------|-----------------|----|----|----|----|----------|----------------------|---------------------|
| | ●開幕(4/13) GW | | | | 夏休 | お盆 休み | ●敬老の日 ●秋分の日 | |
| 会場混雑 | | | | | | | | |
| 非常に混雑 約20万人/日以上 | | | | | | | | 8日 (7%) |
| 混雑 約14万人/日以上 | | | | | | | | 51日 (44%) |
| やや混雑 約14万人/日未満 | | ※1 | | ※2 | | | | 56日 (49%) |
| | | | | | | | 合計 上段:日数 下段:割合 | 115日 (100%) |

※ 土日祝及びゴールデンウィークとお盆期間に相当する日数を除いた平日のみで整理

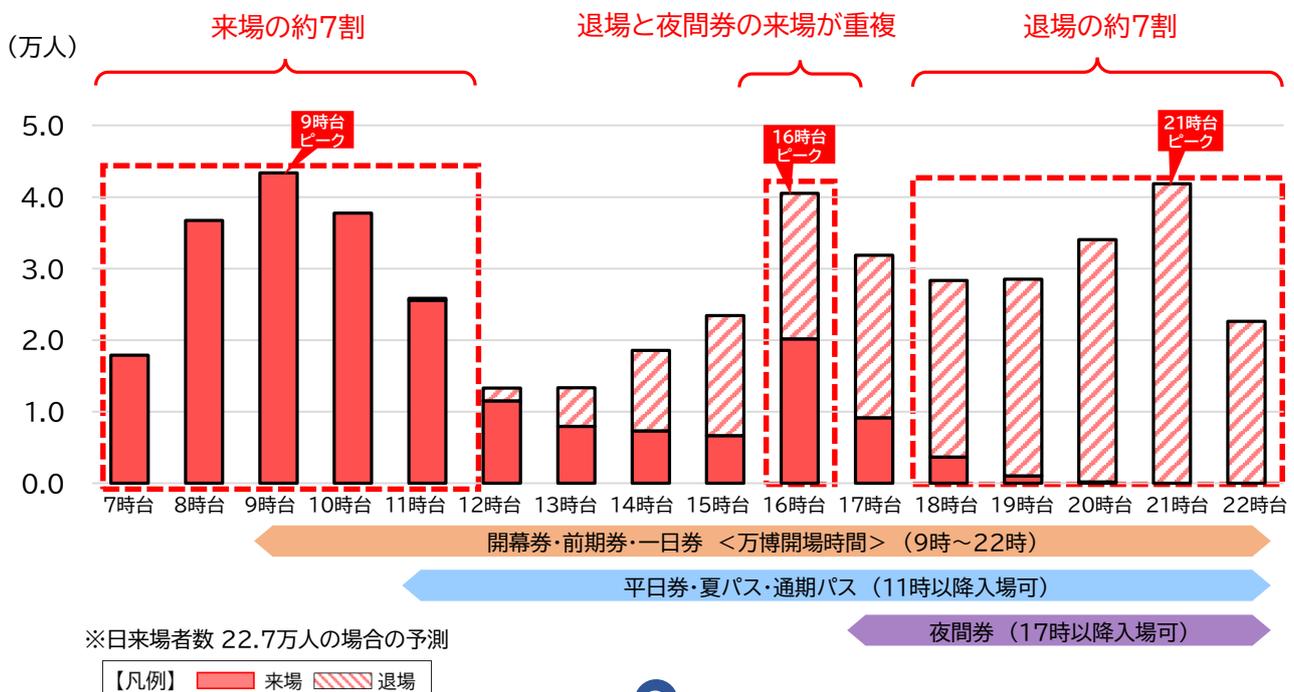
< 予測の考え方 >

※1 (開幕～5月) 会期前半は過去の万博傾向から、来場者が多くないと想定

※2 (7月～お盆) 修学旅行の需要が一段落し、暑い時期ということもあり、一般の来場者需要も減少すると想定

② 1日の時間別の来退場の予測

- 来場は午前中に約7割、退場は18時以降に約7割と予測しています
- 夕方16時には、退場と夜間券の来場が重なるピークの発生を予測しています



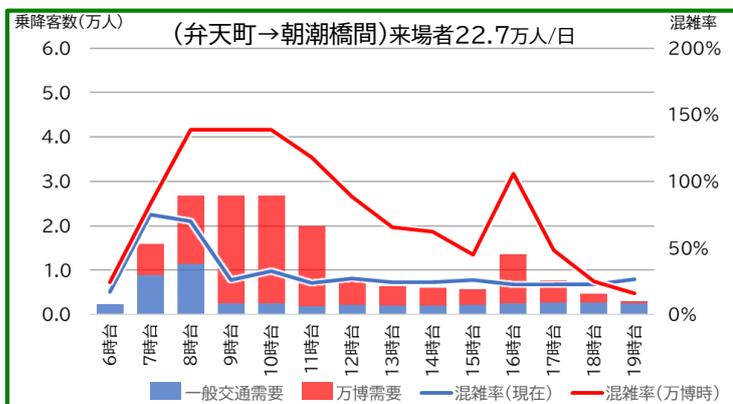
(3) 想定される主な混雑 < 鉄道・来場方向 >

退場方向の予測は来場者輸送具体方針(アクションプラン)第3版に掲載

- Osaka Metro 中央線・御堂筋線に万博交通の集中が予想されます
- このうち、Osaka Metro 中央線(弁天町～コスモスクエア間)は、来場者が20万人を超える日において、平日朝ピーク時に大変混雑すると予測しています



① Osaka Metro 中央線の混雑予測



◆ 朝ピーク時の混雑率

約70%(現在)

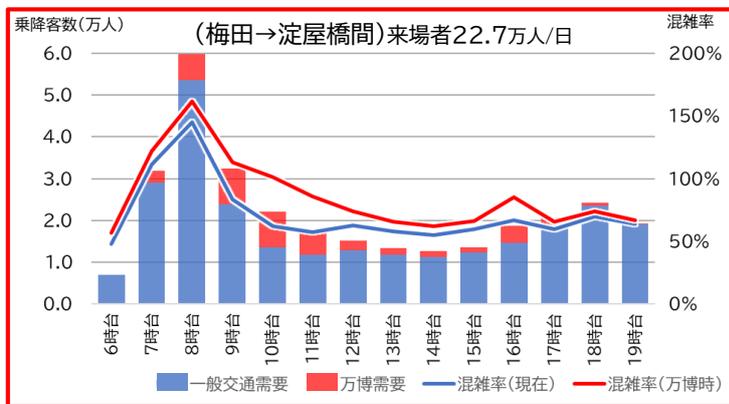
ピーク時16本/時間

何も取組まない場合

140%(万博時)

ピーク時 24本/時間 に増便

② Osaka Metro 御堂筋線の混雑予測



◆ 朝ピーク時の混雑率

約140%(現在)

ピーク時27本/時間

何も取組まない場合

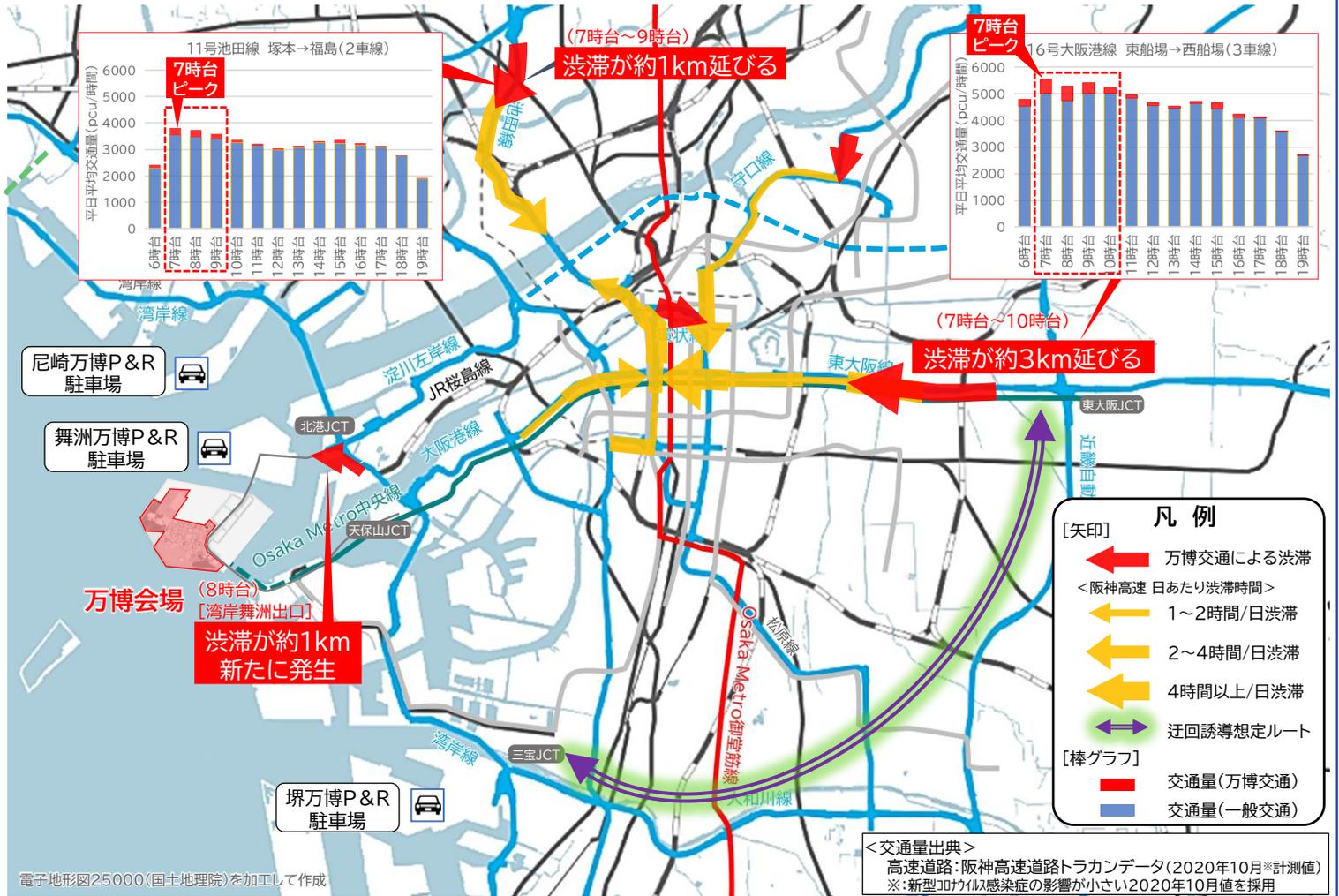
160%(万博時)

※Osaka Metroより2019年データ提供、博覧会協会が推計

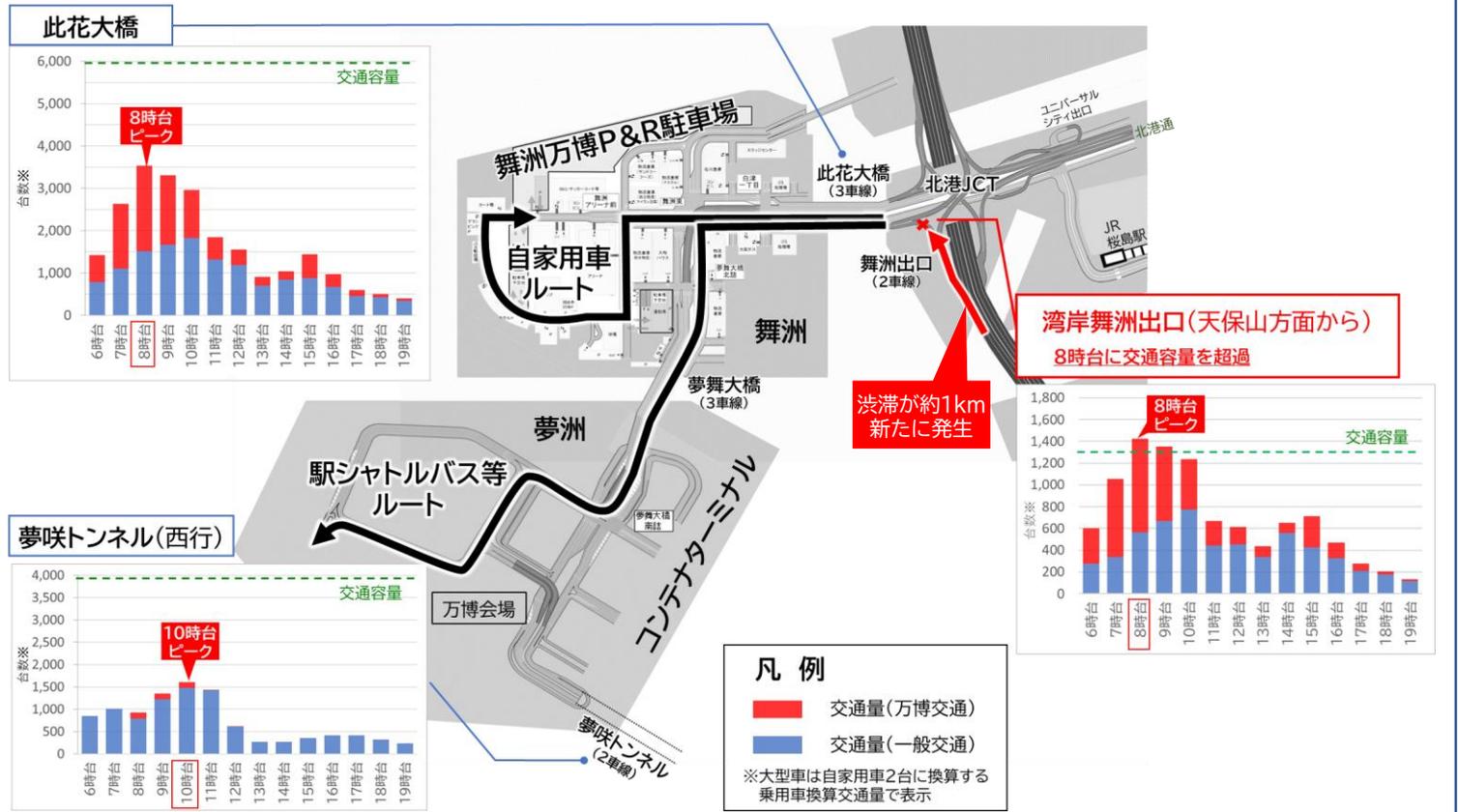
(4) 想定される主な混雑 <道路・来場方向>

退場方向の予測は来場者輸送具体方針(アクションプラン)第3版に掲載

- 阪神高速道路池田線、東大阪線や湾岸舞洲出口は、午前を中心に交通量が増加し、現在より**渋滞の増加**が予測されます(平日朝)



- 湾岸舞洲出口~会場までの一般道路は午前を中心に**駅シャトルバス等**や**自家用車等**が増加します



(5)企業の皆さまにご協力頂きたいこと [交通円滑化に向けた取組]

①移動量・配送量を削減

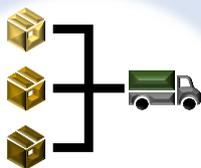


在宅勤務

<目的>

万博会場が混雑する期間*に、会場周辺等で、移動量等を削減する取組により、鉄道や道路での交通混雑を緩和

*P.3を参照



まとめて納品

<主な取組メニュー>

- ・ テレワーク
- ・ 在宅勤務
- ・ オンライン会議の推進
- ・ 共同配送
- ・ イベント開催場所・時期の変更 等

②オフピーク時期・時間帯へ変更



時差出勤

<目的>

万博会場が混雑する期間や来退場のピーク時間帯*を避けた取組により、鉄道や道路での交通混雑を緩和

*P.3を参照



納品時期の変更

<主な取組メニュー>

- ・ 時差出勤
- ・ フレックスタイム
- ・ 商談・打合せ時間の調整
- ・ リードタイム(納品時期・時間)の変更
- ・ 配送時間の変更 等

③混雑を避けた場所・ルートへ変更



迂回通勤 等

<目的>

Osaka Metro中央線や阪神高速道路等の混雑区間*を避けた取組により、鉄道や道路での交通混雑を緩和

*P.4及びP.5を参照



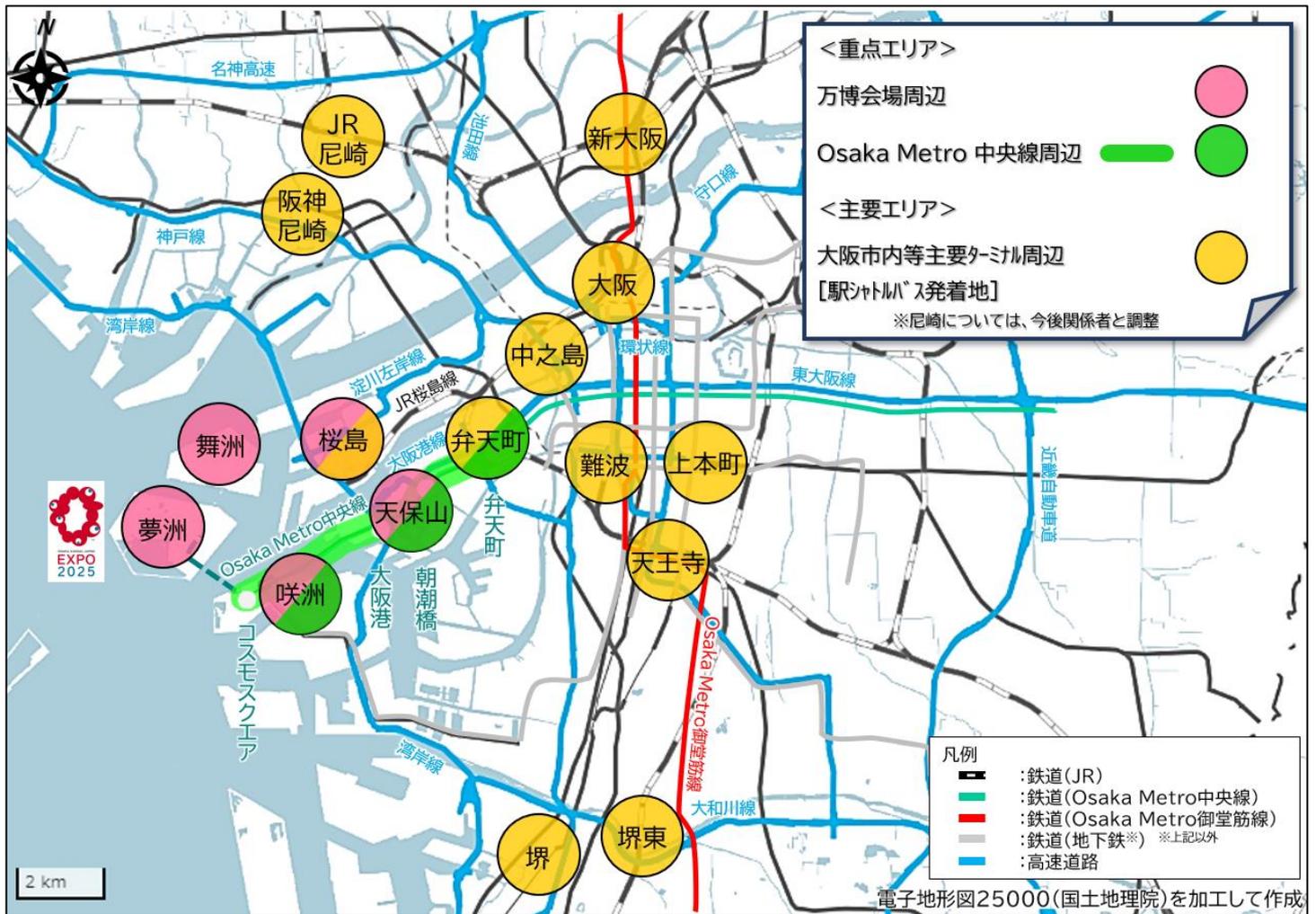
配送ルートの変更

<主な取組メニュー>

- ・ 通勤経路の変更(混雑区間を迂回)
- ・ 配送経路の変更
- ・ 影響の低いエリアにある倉庫の活用 等

(6) エリアや期間によるメリハリ付け（交通円滑化推進会議による取組）

- 来場者等により、**人流・物流が集中し、混雑が予想される会場周辺、駅シャトルバス発着地周辺地域**等のエリアについて、**重点エリア・主要エリア**と位置づけ、メリハリを付けた取組を実施



- 重点エリア・主要エリア等のエリアの特性に応じた、ご協力の呼びかけを実施**

| エリアの区分 | 目的 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|----------------------|----------------------|----------------------|----|----|----|----|---------------------|----------------|
| | | ●開幕(4/13) GW ↔ | | | | | お盆 ↔ 夏休み ↔ | ●敬老の日 ●秋分の日 |
| 重点 エリア | 万博会場周辺 | | | | | | | |
| | 会場アクセスバスの 定時性確保 | → | | | | | | |
| | Osaka Metro 中央線周辺 | | | | | | | |
| | 来場者輸送力の確保 | → | | | | | | |
| 主要 エリア | 大阪市内 主要ターミナル周辺 | | | | | | | |
| | 駅シャトルバスの 定時性確保 | | | | | | | |
| その他エリア (大阪府全域を目安) | | | | | | | | |
| 来場者輸送と社会経済 活動の両立 | | | | | | | | |

凡例 → 強く呼びかける (Red arrow) → 呼びかける (Green arrow) → 準備呼びかけ (Blue arrow)

- エリアに応じた呼びかけの内容については、今後の企業ヒアリング等を通じて、現実的な具体策を検討

「万博TDMパートナー」の登録をご検討ください！

ご登録いただいた方々には、**万博期間中の交通情報**や
他の登録企業の取組事例を、メールマガジン等にて
ご提供させていただく仕組みを作成しているところです。

(2月中を目途に開始を予定しておりますので、改めてご案内させていただきます。)

万博TDMパートナーとは

「2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議」で呼びかける、万博期間中の円滑な**万博来場者輸送と都市活動の両立**をめざすため、一般交通の抑制や分散、平準化の取組にご協力していただく企業の皆さまです。

● TDM(Transportation Demand Management:交通需要マネジメント)

鉄道や道路利用者による交通発生源の調整や時間・経路の変更など、交通行動の変更を促して、発生交通量の抑制や集中の平準化など、「交通需要の調整」を行うことにより、交通混雑を緩和していく取組をいいます。

2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議

| | |
|------|---|
| 会長 | 大阪府知事 |
| 会長代行 | 大阪市長 |
| 副会長 | 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 事務総長 |
| 委員 | 公益社団法人関西経済連合会 会長 大阪商工会議所 会頭 一般社団法人関西経済同友会 代表幹事 |
| 協力委員 | 経済産業省 近畿経済産業局長 国土交通省 近畿地方整備局長 国土交通省 近畿運輸局長 関西鉄道協会 会長 近畿バス団体協議会 会長 |



お問い合わせ先 [事務局]

○交通円滑化・TDMの推進及び「万博TDMパートナー」に関すること

大阪府・大阪市万博推進局整備調整部

TEL 06-6690-7731

受付時間:月曜日から金曜日(祝日を除く)9:00から18:00

※「2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議」https://www.pref.osaka.lg.jp/bampaku_suishin/2025kotsuenkatuka/index.html#



○万博交通アクセスに関すること及び交通円滑化・TDMの推進に関すること

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会交通局交通部

TEL 0570-200-066

受付時間:月曜日から金曜日(祝日を除く)9:00から17:00

※「大阪・関西万博 来場者輸送具体方針(アクションプラン)第3版」<https://www.expo2025.or.jp/news/news-20231120-06/>



2024年2月 協力企業の公募開始 [万博TDMパートナー]

2024年3月~4月 「TDM実施方針」公表
※万博開幕1年前

2024年8月 TDM試行計画の公表

2024年9月~10月 TDM試行の実施

2024年12月 府県市民等への働きかけを開始
※万博開幕100日前

2025年4月13日 万博開幕



企業の皆様が取り組みを検討する際の一助となるよう、大阪府・大阪市が取り組むメニューを検討しているところ。

➤ テレワーク推進・休暇取得促進等による通勤削減 ⇒ 移動回数削減

※ 特に、OsakaMetro中央線の混雑緩和に寄与するため、咲洲庁舎・ATC設置部局に通勤する職員については、
非常に混雑する期間（10/1～10/13）；7割の通勤削減
混雑する期間（6/1～6/30、8/18～9/30）；3割の通勤削減 をめざしていく。
その他の部局についても一定の通勤削減を引き続き検討

➤ オンライン会議の活用などによる出張抑制 ⇒ 移動回数削減

➤ 庁用自動車の利用時に混雑予測箇所を回避 ⇒ 混雑箇所の迂回

➤ 備品の納品時期の調整 ⇒ 混雑期間・時間の回避

➤ 主催の研修やイベントの開催時期・場所・方法の調整 ⇒ 混雑期間・時間の回避

➤ 発注工事の調整 ⇒ 混雑期間の回避



- 所在地:大阪市住之江区南港北1丁目7番89号
- 最寄り駅:コスモスクエア駅
- 本社勤務者数:約1,800名

万博開催期間中の交通混雑緩和に向けた日立造船の取り組み(TDM)について



課題 本社(大阪市住之江区)のある咲州は、万博会場までの鉄道ルート上にある

 大阪・関西万博開催期間中、ピーク予想の時期、時間帯の情報に対して
本社勤務者 約1,800名を対象に、以下のとおり取り組む

1.ヒトの流れに関する取り組み

在宅勤務の活用

- ▶ 在宅勤務は週4回可能(現行制度)
- ▶ リモートワークの設定、出勤率の設定等を検討中

フレックス勤務の活用

- ▶ オフピーク出勤(時差出勤)で混雑緩和

Web会議の活用

- ▶ 各事業所から本社への出張は極力控え、オンライン会議を活用

2.モノの流れに関する取り組み

 営業車(約50台)の使用頻度削減、時間の変更

 宅配便の発送数削減、日時に余裕を持たせた利用

- ▶ 宅配便の配送・集荷回数の削減
(18回/日→10回/日以下へ)
- ▶ その他車両(廃棄物収集車、自販機・売店等の配送車など)の半減

ミズノ株式会社

<会社概要>

所在地 大阪市住之江区南港北1-12-35
最寄り駅 コスモスクエア トレードセンター前
大阪本社勤務者数 約1,200名



資料 2 - 2

2025年大阪・関西万博開催期間中の交通緩和の取り組み

ヒトの流れに対する取組

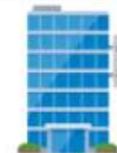
- **テレワーク制度の確立と浸透**
コロナ禍に試行していたテレワークを制度化し継続して実施
出社率50~60%を継続キープ
- **フレックス制度による時差出勤**
コアタイムを設定しないフレックス制度の実施
1時間のみの勤務も可能なスーパーフレックス
- **迂回通勤経路アナウンス**
最も混雑が予想される期間については
迂回経路を社内インフォメーションにて掲示し、混雑回避を誘導
- **大型イベント廃止、自社展示受注会の人流制限**
過去6月に実施していたインテックス大阪での大規模展示受注会の中止を継続
自社での展示受注会は事前予約により来社人数を制限



テレワーク勤務

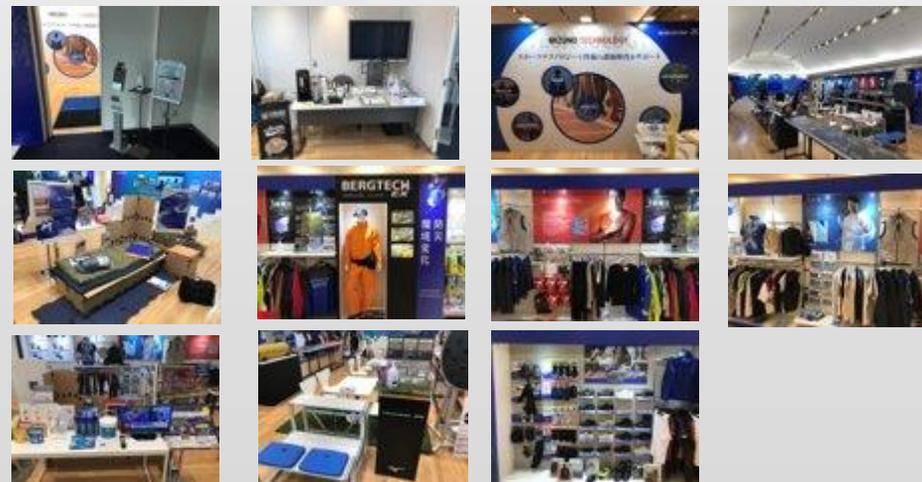
ワークライフマネジメント

出社勤務



・通勤時間を削減できるので勤務開始前・終了後の時間を有効活用できる
・柔軟な働き方が可能なため、育児・介護等家庭の事情に対応できる

・時間単位年休の使用やフレックスタイム制度を活用できるが、
テレワークほどの柔軟性はない
・オンオフの切り替えがしやすい



インテックス大阪で開催していた新製品展示会を
自社開催でコンパクトに。来社時間管理により混雑を避ける。

リーガロイヤルホテル(大阪)のTDMへの取組

弊社は大阪・関西万博の円滑な開催に向け、TDMに精一杯のご協力をいたします。

1



社内取組

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| ◆ 在宅勤務の推進 | ：事務職員のテレワーク比率上昇。 |
| ◆ 時差出勤の推進 | ：シフトコントロールによるピークタイムの回避。 |
| ◆ 諸会議のリモート化推進及び会議数の削減 | ：コロナ禍に導入したZOOM活用範囲を広げる。 |
| ◆ 大阪市内営業時の社用車利用の抑制 | ：セールスルートを効率化し公共交通機関を最大限利用。 |
| ◆ 大阪・関西万博のコア交通経路利用の抑制 | ：中央線、御堂筋線通勤者の別ルート利用。 |

人流への取組

ゲストへ向けた取組

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| ◆ お客様への公共交通機関利用の呼びかけ | ：公共交通機関及びシャトルバスの利用推奨を案内。 |
| ◆ お客様への交通状況に関する情報の提供 | ：期間中の混雑予想等を案内。 |

2



物流への取組

- | | |
|------------|-------------------------------------|
| ◆ 設備工事の抑制 | ：設備更新及び改修の頻度を低減。 |
| ◆ 納品の工夫 | ：混雑時間帯及び混雑コースの回避。一括発注による納品回数の抑制。 |
| ◆ エコプランの推進 | ：客室のクリーニング回数を減らす取組の実施。アメニティ発注の回数抑制。 |

3



RIHGA ROYAL HOTELS

企業としての取組

- | | |
|-------------|-------------------------------------|
| ◆ 業界への呼びかけ | ：ホテル協会(大阪兵庫支部)加盟ホテルに対しTDMへの協力を呼びかけ。 |
| ◆ 取引先への呼びかけ | ：協力企業、テナント企業に対しTDMへの協力を呼びかけ。 |